

危険なヘリ基地をジュゴンの棲む海へ？

あなたは許せますか？

米軍ヘリ墜落抗議

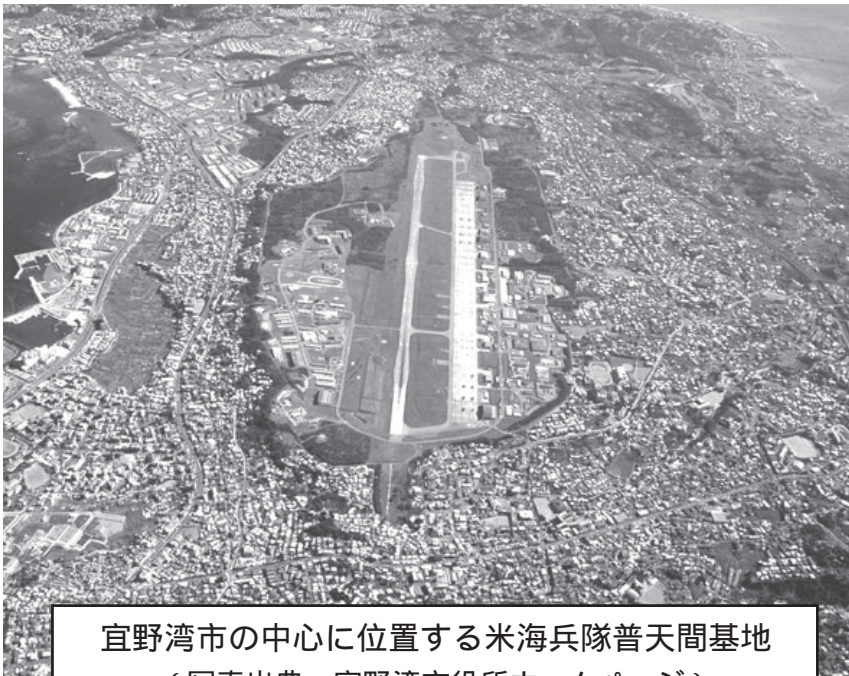
普天間基地返還要求集会

三河台公園

8月27日(金) 午後6時半 三河台公園

(地下鉄日比谷線・大江戸線 六本木駅徒歩3分)

(集会後 米大使館経由日比谷までデモ)



宜野湾市の中心に位置する米海兵隊普天間基地
(写真出典：宜野湾市役所ホームページ)

米軍普天間飛行場は、宜野湾市の真ん中に位置し、市の面積の3割以上を占めています。SACO合意(1996年12月)で、5～7年以内の返還が約束されたにもかかわらず、現在に至るも返還のめども立っていません。去る8月13日、怖れられていた市街地への被害が、沖縄国際大学構内への米軍ヘリ墜落として現実のものになりました。幸いにも民間人の被害はなかったものの、17カ所の建物と多数の車両が被害を受けたのです。

普天間飛行場の代替施設として計画されている名護市辺野古の海は、ジュゴンを育む豊穡の海です。珊瑚礁を埋め立て、長さ2500mの巨大基地が建設されようとしています。子孫に残すべき海を殺人のための基地にしているのでしょうか？

辺野古現地では4ヶ月余に及ぶ座り込みによってボーリング調査を阻止しています。基地建設を阻止できる機会は今を置いてありません。本土も現地に呼応して建設「否」の声を上げましょう。



今止めないと珊瑚礁の海に巨大軍事基地が出現します
(名護市辺野古沖)

辺野古への海上基地建設・ボーリング調査を許さない実行委員会

090-3910-4140, 03-5275-5989 URL <http://www.jca.apc.org/HHK/NoNewBases/NNBJ.html>